

一步先行く企業戦略

札幌市内の企業における テレワークの導入事例



Contents

テレワーク導入実証実験

- 参加企業
 - 有限会社キュープランニング……………P2
 - システムデザイン開発株式会社……………P3
- 参加者の声……………P4

テレワーク導入企業へのヒアリング調査

- 導入事例
 - 1 税理士法人アンビシヤス・パートナーズ……………P5
 - 2 株式会社HDC……………P6
 - 3 株式会社エクサム……………P7
 - 4 クラスメソッド株式会社……………P8
 - 5 株式会社サジェコ……………P9
 - 6 株式会社24-7……………P10
 - 7 東日本電信電話株式会社（NTT東日本）…P11
 - 8 株式会社フェリクシート……………P12
 - 9 北海道ベンチャーキャピタル株式会社……………P13
 - 10 本間社会保険労務士事務所……………P14

発行にあたって

札幌市における女性の有業率は、全国と比較して低い水準にあり、年代別の有業率をみても25歳～34歳で低くなっています。

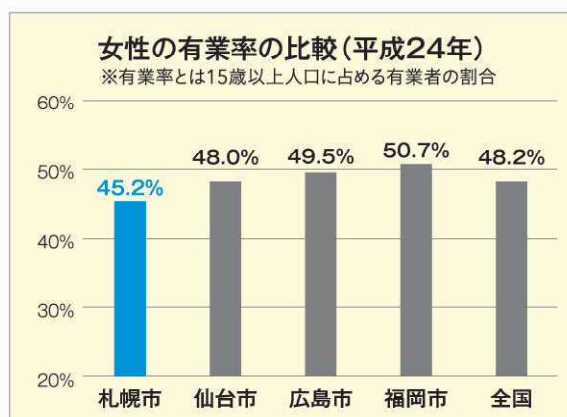
このような背景から、女性の有業率向上のためには、働くママ世代にとって、働きやすい職場環境の整備が必要であり、在宅勤務をはじめとするテレワークが有効な手法の一つであると考えました。

札幌市では、テレワーク導入に係る課題や成果を把握し、今後のテレワーク普及に生かすため、テレワーカーと企業をマッチングさせ、実際に在宅勤務を行う実証実験を平成28年度に実施しました。

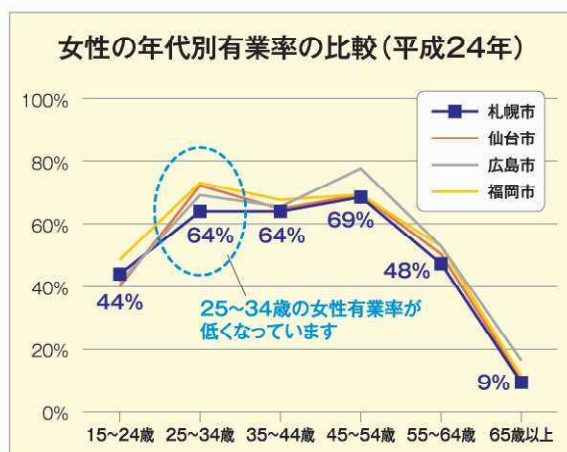
また、すでにテレワークを導入している企業10社取材し、これらの取組を参考事例集としてまとめました。

本事例集により、ひとつでも多くの企業、ひとりでも多くの就業者の方々にとってテレワークが身近なものであるとのイメージを持っていただければ幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたり、様々なご意見、ご協力をいただきました企業のみなさまに心よりお礼申し上げます。



出典：総務省統計局「就業構造基本調査」



出典：総務省統計局「就業構造基本調査」

テレワークの効果

災害時の
事業継続に



働くママ世代の
離職を防ぐ



障がい者の
雇用につなげる



環境配慮(エコ)と
業務効率向上のために



病気や家族の介護で
通勤が困難な
方のために



テレワーク導入実証実験 参加企業

有限会社キュープランニング

広告デザイン業

所在地 ● 札幌市中央区北6条西20丁目2番30号 T&Tビル2階
電話番号 ● 011-623-8988
代表者 ● 北名 由美子、北名 勝正
従業員数 ● 8人
資本金 ● 300万円
事業内容 ● 販売促進ツール、ロゴ・キャラクターデザイン、
オリジナルイラスト作成
U R L ● <http://q-planning.com>

在宅勤務は企業とテレワーカー 双方にとって多くのメリット

デザイン事務所の有限会社キュープランニングはスタッフ全員が女性で、社員がライフステージに合わせて働ける環境を、積極的に整えてきました。導入実証実験では、2名のデザイナーを採用しました。



代表 北名 由美子さん

様々なライフスタイルに対応できる 勤務体制を目指して

これまでは、社内スタッフに外注のフリーランスを加えた体制で業務を行ってきましたが、今回を機に、在宅勤務は企業とテレワーカー双方にとって多くのメリットがあると感じ、今後はテレワーカーの積極的な雇用も視野に入れていきます。

「決められた時間内であっても、能力や経験のある人材に働いてもらえるのは企業にとって非常に魅力的。一方、テレワーカーにとっても、子どもが小さいなどの理由で短時間だけ働きたかったり、フリーランスのように責任の大きな仕事を担当することが難しい場合、仕事復帰を在宅勤務からスタートすることは、次のステップに繋がりがやすくなるのでは」と考えています。

雇用形態について、今回のテレワーク導入では、有期雇用としての採用でしたが、短時間の在宅勤務という今の働き方をずっと続ける必要はないですし、おそらく子どもの成長と共に働き方の希望も変わっていくと思います。「その要望にできる限り応えながら、お互いにとって良いカタチを一緒に作っていただければいいですね」と展望を語ります。

クラウドシステムの導入で、 業務が効率化

当初、テレワーカー用に導入したクラウドの勤怠管理システムは、会計システムと連動するなど使い勝手が良く、その後、全社員に導入しました。また、データの保管、受け渡しには Google ドライブ、スケジュール管理には Google カレンダーを利用するなど、クラウドシステムの活用で業務を効率化できたこともプラスになりました。

テレワーカーとのコミュニケーションは、主にメールで行い、必要に応じて、電話での打ち合わせを行いました。日頃から、顧客や外注先との連絡はメールや電話が中心だったこともあり、テレワーカーとのやり取りもスムーズに進みました。

支援する人、される人を固定化させない 助け合える職場に

テレワーク導入に際しては、社内に不公平感が生まれない配慮も重要です。ワークライフバランスのセミナーで印象に残った言葉『支援する人、される人を固定化させないこと』を念頭に置き、子育て中の社員だけではなく、社員一人ひとりから働き方の希望を聞き出せるよう、定期的に面談の機会を作るようにしました。「テレワークの導入をきっかけに、チーム力の最大化をめざしたい」という言葉に、経営者としての気概を感じさせます。

テレワーク導入実証実験 参加企業

システムデザイン開発株式会社

情報通信業

所在地 ● 札幌市中央区南1条西10丁目1番2 SDDビル
電話番号 ● 011-281-6770
代表者 ● 代表取締役 菅野 満
従業員数 ● 32人
資本金 ● 3,800万円
事業内容 ● 受託システム開発、システムコンサルティング、
クラウドサービス・テクニカルシステムの開発・提供
URL ● <http://www.sddgrp.co.jp>

スキルと経験のマッチングが、 成功の鍵

システムデザイン開発株式会社では、自社のホームページ作成とソフトウェア開発を行うテレワーカー、計2名を導入実証実験で採用しました。総務部の三浦正知さんは「テレワーカーのスキルと経験が、会社の求めるレベルに合っているかが成功の鍵だと思います」と話します。



総務部 課長 **三浦 正知さん**

就労継続を目的に、 テレワーク制度の拡充を検討

初めから在宅勤務を前提としたテレワーカーの雇用には、いくつかの壁があると三浦さんは考えています。「教育にかけられる時間がほぼないこと、社内のやり方に精通していないこと、強い信頼関係が築かれていないこと、といった理由から、コミュニケーションがスムーズに行かなかったり、結果として求める人材の幅が非常に狭くなってしまわないかと思えます」と難しさを指摘します。

一方、企業にとってテレワーカーを雇用するメリットとして、外注に比べてコストをおさえられることを挙げます。今後は、すでに雇用している社員にテレワークを拡充していくことを検討したいと考えて、「女性社員に結婚や育児を経ても働き続けてもらうためには、テレワークというツールが必要になってくると思います。そして、性別に関係なく、介護を理由に在宅勤務を希望する社員も出てくると思います。導入を本格的に検討する時期に来ていると考えています」と前向きです。

予定を把握することで、 コミュニケーションが円滑に

「テレワーカーにある程度の経験値が無いと、こちらの指示を伝えることは容易でないと感じました」と振り返ります。

しかし、そうした中で、コミュニケーションを円滑に進めるための要点に気づいたと言います。「テレワーカーが作業を進めるスケジュールをこちらが把握していると、仕事の様子が見えやすく、タイムリーな連絡のやり取りもできるため、スムーズに進めることにつながる」ことがわかりました。また、業務経験以外にも、現在主流になっているコンピューター言語に関する専門知識なども、細かい指示を伝えるためには重要だと感じています。日々のコミュニケーションはメールで行い、データのやり取りや管理については「IBM SoftLayer (ソフトレイヤー)」というクラウドサービスを使い、問題なくファイルの共有などができました。

社員の意識変革へ、 トップから変わることが重要

社内にはテレワークを導入するためのシステム環境がすでに整っていますが、それでも課題はあります。「今は、『会社にいるのが当たり前』という企業風土ですので、会社にいる、いないに関わらず、『成果を認める』という文化ができないといけません」と前置きし、「社員に辞められると損失はとて大きい。一時的に休んでも働き続けてもらうためには、管理職が週1日程度で在宅勤務を取り入れるなど、トップから変わることが必要だと思います。前例を作れば、社内全体が変わるのではないのでしょうか」と、今後の展望を語ります。

テレワーク導入実証実験 参加者の声

有限会社キュープランニング勤務



デザイナー
テレワーカー
増田さん

柔軟に働くことで感じられるやりがい

テレワーカーとして働くメリットは、働くことで自宅でも気が引き締まること、そして、仕事が形になる楽しさや達成感を得られること、きちんと評価をされてやりがいを感じられることです。週3日の勤務ですが、勤務時間の延長は無く、作業の区切りが良いところまで自分で調整出来るなど、時間の融通が利くことは本当に助かります。急な事態にも理解があるため働きやすいです。

ママが家に居るという安心感

テレワーカーに応募したきっかけは、子どもが一人で遊べるようになり、今なら働けるのではと思ったことです。子どもが幼稚園に通っている時間に働いています。会社で働くときと家を不在にしなければなりません、家に居ながら仕事出来ることは子どもにも安心感があるようで、淋しい思いをさせることが少ない点が嬉しいです。

在宅だからこそ コミュニケーションが重要に

連絡のやり取りは主にメールで、作業は基本的に一人で進めます。そのため、会社勤務のようにその場で確認しながら仕事を進めることができず、当初は疑問を自分で解決しようとして時間がかかっていました。今は、思い込みで作業を進めることが無いよう、疑問に対してはすぐにメールを送り、必要に応じて電話で確認します。コミュニケーションを密にすることが特に重要だと感じています。

働くことの意識を変えた 在宅という選択

テレワーカーという働き方を知るまでは、子どもが幼いので働くのはまだ早いと思っていました。パート勤務では、なかなか自分の希望に合う条件がないと感じていた中、自宅に居ながら働けるという点は魅力的でした。勤務時間が長過ぎることも無いため、子どもが小さくても働きやすく、とても良い経験になっています。

システムデザイン開発株式会社勤務



システムエンジニア
テレワーカー
山田さん

子どもに合わせた時間調整が鍵

2歳の子どもの長くお昼寝をするタイプだったので、その時間を利用して、4歳の子どもの幼稚園に通っている間、週に10~15時間ほど働いていました。以前から、幼稚園の長期休みの預け先が課題で、今でも悩んでいます。今回は、近くに住む両親の協力を得て預かってもらえたことと、作業の内容や量に合わせて勤務時間を自由に割り振れたことで、なんとか乗り切ることができました。

家に居ながら 企業で働き続けられる安定感

仕事で外に出たり、人に会って一緒に働いたりということが無く、基本的に家での単独作業が中心です。そのため、働くことに対する考え方や人によって、在宅勤務に向くかどうかに分かれるかもしれません。同じ会社で働き続けられることは、派遣やフリーランスの勤務形態と比べて、意思疎通をより柔軟に取ることが可能になるため、非常に働きやすいと思います。

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 1

税理士法人アンビシャス・パートナーズ

税理士業

所在地 ● 札幌市厚別区厚別東4条4丁目9-1
電話番号 ● 011-398-4736
代表者 ● 森下 浩
従業員数 ● 13人
資本金 ● 150万円
事業内容 ● 税務、会計業務、コンサルティング業務、
各種セミナー業務
URL ● <http://agri-ambitious.tkcnf.com/>



テレワーカー 会計担当
三浦 麻有美さん

「家から近い職場で働きたい」思いを、在宅で叶える

税理士法人アンビシャス・パートナーズで事務を担当する三浦麻有美さんは、月一度の全体会議以外は在宅で働いています。この仕事を始める以前は、税理士の資格を持っていたものの、職種は問わずに自宅からの距離だけを考慮して職探しをしていたと話します。お子さんがまだ幼稚園児で、急な病気で迎えに行かなければならない時など、頼れる親類が近くにいなかったためでした。そんな折、税理士の知識をいかして在宅で働ける

現在の仕事の誘いを受け、働き始めました。三浦さんは「もし在宅でなかったら、事務所は自宅から遠いので働いていなかったと思います」と話します。

「職場との連絡はメールや電話のほか、月一度の全体会議などを利用して、話す時間を十分に確保している」と話します。忘年会にも子連れで参加でき、社員が互いの家族を知る機会になっていると話し、母親としての働きやすさを実感しています。



代表 森下 浩さん

働いていない優秀な人材を確保する、 Win-Winの関係が重要

北海道の農業を専門とする税理士法人アンビシャス・パートナーズは、平成27年に第3回「会計事務所甲子園」で優勝するなど、在宅勤務や子連れ出勤、社員の子どもを対象とした食育活動などの取り組みが高い評価を得ています。社員の働き方は、完全在宅勤務、出勤と在宅が半々の人、子どもの長期休暇中など時期によって変わる人、と様々です。

代表の森下浩さんは、ご自身の子育ての経験を通して「家庭と両立できるような柔軟な働き方ができれば良いのに」と設立前から感じていたそうです。また、会計業務の経験を持ち産後間もない女性を採用したこともあって、設立当初から、在宅勤務と子連れ出勤を可能にし、おもちゃやDVDのあるキッズルームを作るなど環境を整えてきました。在宅勤務をする社員にはノートパソコン

とモニター、LTEモバイル端末が支給され、電子化された資料やファックスをサーバーで見ながらオフィスとほぼ同じ環境で働くことができます。また、顧客との打ち合わせに自宅から直接向かうことや帰宅することを許可しています。

森下さんは「これは奉仕活動ではありません。子育てを理由に働いていない優秀な人材を確保できる雇用側と、家庭の事情に合わせて柔軟に働ける社員、というWin-Winの関係です」と話します。忘年会や食育を目的とする農業体験など子連れで参加できる行事が多く、社員が互いの家族を知っていることで「職場全体が家族のよう」だと話します。そうした関係の中、子どもの体調不良などを理由とする急な休みにも、社員が互いに助け合う意識が自然に生まれています。

導入事例 2

株式会社HDC

IT関連業

所在地 ● 札幌市中央区南1条西10丁目2番地 南一条道銀ビル
電話番号 ● 011-261-5502
代表者 ● 代表取締役社長 西山 秀樹
従業員数 ● 373人
資本金 ● 7,500万円
業種 ● ソフトウェア開発、システムコンサルティング、システム・ネットワーク設計、
事業内容 ● 情報処理サービス、iDC(サーバ運用管理サービス)、パッケージソフト導入サービス、ホームページ作成・情報発信サービス、集金代行サービス(北海道ワイドネットサービス)、コンピュータ・OA機器販売・サポート&サービス、コンピュータサブライ用品販売
URL ● <http://www.lilac.co.jp/hdc>



テレワーカー システム管理部
中川 浩一さん

障がいを抱えての就労、在宅勤務で負担が軽減

株式会社HDCのシステム管理部主任、中川浩一さんは、もともと身体の障がいを抱えながら働いていましたが、通勤による体への負担が大きくなり職場に相談。以来、完全在宅勤務をしています。以前は「会社で体がしんどいと感じることが多く、就労後も疲労が残っていました」と振り返ります。在宅勤務を始めてからは体への負担が減り、安心して働けるようになったと話します。

自宅では、専用スペースで自分のパソコンから会社の自席にあるパソコンを遠隔操作し、会社と同じ環境で働くことができ

ます。仕事の内容は、社内のシステムをプログラム修正することが主です。顧客とのやり取りが必要ないため、自宅でスムーズに作業を進めることができると言います。「在宅のデメリットを強いてあげるなら、…上司に少し確認したいことを遠慮して後回しにしてしまうことがあるくらいでしょうか」と笑う中川さんですが、2週間に一度の部内会議には「Skype(スカイプ)」を使って参加し、職場とのコミュニケーションは良好で、現在の働き方に満足している様子がうかがえます。



人材開発部 部長
園田 仁さん

社員の要望に応え在宅勤務を導入

株式会社HDCはソフトウェア開発からシステムコンサルティング、システム・ネットワーク設計、情報処理サービス等、ITに関する幅広い事業を展開しています。テレワークを導入したきっかけは、中川さんの希望でした。人材開発部の園田仁部長は、「身体の障がいにより通勤が困難であるという相談を受けて、在宅勤務の導入を検討し始めました。セキュリティ対策をどうしたら良いのか、といったことを調べるところからのスタートでした」と経緯を説明します。

現在は、富士通ネットワークソリューションズの「モバらくだ for PC」というテレワーク専用のシステムを導入しており、社員が自宅のPCから会社の自席PCを遠隔操作できる環境を整え

ました。「PC端末にデータが残らずセキュリティ面でも安心です」と話します。また、勤怠管理はマイクロソフト社の「Office365」を使うことでPC操作履歴を確認できるほか、始業・終業時にメール連絡します。

テレワークの環境を整備したメリットは、それだけではありませんでした。育休中の女性社員が担当するプログラムの緊急修正が必要になった際、2日間ほど自宅で働いてもらい対応できたそうです。園田部長は「今後は介護をする社員も増えてくるのではと考えています。育児や介護、障がいなどの理由がある社員には在宅勤務を認められるよう、社内規定の変更の準備を進めているところです」と言い、さらなる環境整備に取り組んでいます。

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 3

株式会社エクサム

臨床試験支援業

所在地 ● 札幌市中央区北1条西5丁目2番地
電話番号 ● 011-222-5225
代表者 ● 代表取締役 米森 寛
従業員数 ● 249人
資本金 ● 8,000万円
事業内容 ● 医薬品の臨床第1相～第Ⅲ相試験・生物学的同等性試験・臨床薬理試験・薬物動態学的試験・皮膚安全性試験（パッチテスト等）および医薬部外品、化粧品、機能性食品等の機能性評価試験・安全性試験等支援業務
U R L ● <http://www.ekusamu.co.jp>



テレワーカー 営業企画部
廣瀬 由美子さん

体調や介護の都合に合わせて働く

株式会社エクサムで製薬会社への見積もり作成などを行う廣瀬由美子さんは、ご自身の体調や介護の都合に合わせて週に2、3回、在宅勤務を取り入れています。担当する仕事は、東京や大阪に本社の多い製薬会社と、治験の費用を電話やメールで交渉することが主です。そのため、他の社員と連携して行う必要がある仕事以外は、会社から支給のPCと携帯電話を使い自宅でオフィスと同じ作業ができます。

ご自身の闘病を経て、現在は通院時に有給休暇を取っていますが、それ以外でも体調に波があるため「人が多い電車などの通勤がないことで、体への負担を減らせています」と在宅勤

務の魅力を感じています。また、業務が忙しいとき、オフィスにいて集中して作業を続けてしまい体が疲れてしまうことがあるという悩みがありましたが、在宅勤務では自宅で自分の体調と相談しながら安心して働いています。

現在、父親の介護もされており、勤務途中の一時的な離席を認める「中抜け」制度を使い、仕事の合間に父親の洗濯物など身の回りのことを手伝うことも多いとのこと。自分のペースに合わせたワークライフバランスのもと、柔軟に働く様子がうかがえます。



人事部 部長
酒井 秀明さん

女性が多い治験コーディネーターはテレワークに適する

社員の大半が治験コーディネーターで、その9割は女性という株式会社エクサム。そうした環境について「テレワーク導入の意義があります」と酒井秀明人事部長。治験コーディネーターは医療に関する知識が必要な上、患者さんと接する仕事であるため看護師等の有資格者が多く、育児や介護、夫の転勤といった女性の負担になりがちな事情が、就労に関係してくると話します。在宅勤務の導入は、こうした様々な事情に合った勤務形態を可能にし、就労継続に結びつくことが期待できると言います。

在宅勤務の作業は、情報管理上、支障のない範囲で認めています。また、深夜以外の時間帯で合計8時間勤務すれば良いと

する、「中抜け」制度を可能にしたところ、早朝に自宅で事務作業を行ってから、病院に直行して勤務し、帰宅して家事等をすませた後、再び在宅で作業を行うといった柔軟な働き方が可能になり、家庭との両立がより容易になりました。

在宅勤務の導入にあたっては「Fチェア」という勤怠管理システムを入れ、在宅勤務をしている社員の「着席」「離席」を管理できます。勤務形態については、現在は在宅にとどめていますが、将来的には病院内でのモバイルワークの可能性も検討したいとしています。

導入事例 4

クラスメソッド株式会社

ITシステムインテグレータ

- 所在地 ● 札幌オフィス／札幌市中央区北3条西1丁目1-1 札幌ブリックキューブ 9階
代表者 ● 代表取締役 横田 聡
従業員数 ● 130人(札幌オフィス17人)
資本金 ● 1億円
事業内容 ● クラウド(AWS)に関するコンサルティング、設計、構築、運用。ビッグデータ分析基盤に関するコンサルティング、設計、構築、運用。モバイルアプリケーションに関する企画、デザイン、開発、運営。マーケティング・システム構築のためのサービス「カスタマーストーリー」の企画、開発、運用
URL ● <https://classmethod.jp/>



テレワーカー 札幌オフィスエリアマネージャー
佐々木 大輔さん

どこで働いてもいい、自由さが魅力

クラスメソッド株式会社で札幌オフィスの統括を担う佐々木大輔さんは、場所を選ばず働ける自社の環境について、「社員誰もが退職は考えない」と言うほどの自由さがあると自信を見せます。仕事の大半はネット環境さえあれば可能なため、エンジニア、オペレーターだけでなく、管理部門を含む全ての社員が「リモートワーク」（「リモート」は「遠隔」の意）という呼称でテレワークをしています。オフィスを見渡すと、出社している社員は半数くらいです。

佐々木さんは仕事の内容や繁忙具合によって出社か在宅かを選んでいきます。自宅では自分のパソコンからオフィスのサー

バーにアクセスし、オフィスと同じ環境で仕事をすることができます。離れた場所にいる社員同士でテレビ会議をすることも多く、支給されたマイク付きヘッドホンを使います。また、自宅に限らずどこで働くのも社員の自由で、バリ島のビーチを眺めながら仕事をしたこともあるそうです。

リモートワークのメリットとしては、通勤時間を省けることを挙げます。忙しい時は在宅にして通勤時間を仕事にあてます。特に冬は出勤に伴う時間と負担が増えるため、自宅にいながらにオフィスと同じ環境で働けることに大きな魅力を感じています。



管理部 部長
魚見 賢太郎さん

全国に散らばる社員、事業継続と就労継続が目的

クラウドやビッグデータ分析基盤等に関するコンサルティングや設計、構築、運用を手掛けるクラスメソッド株式会社。リモートワークを導入したきっかけは「社員2名がほぼ同時に介護のために地元に戻らなければならなくなり、働き続けてもらうためでした」と管理部部長の魚見賢太郎さんは話します。

また、ほぼ同じ頃、東日本大震災が発生し、BCP(※1)の観点からも導入の必要を感じたと言います。平成24年度東京ワークライフバランス認定企業(東京都)にも選ばれるなど、働きやすい職場環境は度々評価されています。現在も、介護や配偶者の転勤などを理由に、社員が東京、札幌、長野、名古屋、山口と全国各地でリモートワークをしています。離職者はここ数

年の間、ゼロでリモートワークは社員採用の際のPRポイントにもなっていると話します。

リモートワーク導入にあたっては、社員のPCからオフィスのサーバーに、暗号化された方法でセキュア(※2)にログインしお客様情報にアクセスできるシステムを整えました。また、ビデオチャットを使ってテレビ会議を頻繁に行い、社内のコミュニケーションをはかっています。顔や声をよく知っている社員同士が「実物の相手に会うのは初めて」ということは社内でもよくあること、と魚見さんは笑顔を見せます。

※1. BCP: 事業継続計画。企業が自然災害、事故、テロ等の緊急事態に遭遇した際、業務に対する被害を最小限にとどめ、事業活動の継続、早期復旧を行うために事前に策定する行動計画のこと ※2. セキュア: 安全で危険がない情報セキュリティのこと

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 5

株式会社サジェコ

サービス業

所在地 ● 札幌市西区八軒9条東5丁目1番28号
電話番号 ● 011-788-7505
代表者 ● 代表取締役社長 伊藤 直樹
従業員数 ● 79人
資本金 ● 2,000万円
事業内容 ● ビルメンテナンス、ICT、高齢者・障がい者介護、
家事代行サービス、その他付随事業
URL ● <http://www.sajco.jp>



テレワーカー ICT技術部 飯高 司さん

悪天候や交通事故などリスクを回避し、 時間的コストを減らす

株式会社サジェコでシステムエンジニアとして働く飯高司さんは、週に4日ほど、在宅勤務をしています。飯高さんは石狩市在住ですが「時間的なコストを減らせること」が在宅勤務の大きなメリットだと言います。自社製品のプログラム開発を担当している飯高さんは顧客との連絡業務が多く、「メール一つ送る必要があるとき、そのために片道40分かけて出社するのは負担ですし、通勤時間を仕事にまわせることは有益だと思います」と効果を感じています。

自宅では、兼松コミュニケーションズ社の「DESKTOP+Plus

（デスクトッププラス）」という遠隔操作システムを使い、支給されたPC画面に、会社の自席PCと同様の画面を映し出して仕事をします。自宅のPC端末には情報が残らないため、セキュリティを確保できると言います。

機密情報などが含まれるプログラム作業以外は在宅で行っており、顧客との連絡業務のほかに資料作成や積算作業も行います。飯高さんは「大雪などの悪天候や交通事故など、通勤に伴うリスクとコストを減らすことは会社にとっても潜在的な力になるのではないのでしょうか」と強調します。



代表取締役社長 伊藤 直樹さん

責任あるポジションとPC作業が テレワーク成功のカギ

社会福祉事業を中心に、ビルメンテナンスやICT、高齢者・障がい者介護など幅広い事業を展開する株式会社サジェコ。環境への配慮と業務効率の向上を目的に平成22年頃に在宅勤務制度を導入したものの、在宅勤務をする社員の生産性が落ちてしまい、一度は中止に。代表取締役の伊藤直樹さんは「やり方がわからなかったんです。どうすればうまくいってかわかってきて、再度始めることができました」と振り返ります。

テレワーク成功の鍵は、紙が必要なくPCで完結できる作業であること、そして、部下に影響を与えるような責任あるポジションの社員であること、だと分析します。「私も自宅で仕事をすること

がありテレワーカーと言えますが、休める時に休む、という働き方で常に仕事のことが頭にあります。立場があると生産性は落とせません」と話します。また、「労働時間ではなく、成果が評価される仕事」もテレワークに向いていると指摘します。

年度内には就労継続支援A型(※)事業を始める予定で、「いま増えている精神障がいの方は対人関係が苦手であることも多く、在宅勤務が向くと思います。そのための訓練をし、テレワークのツールやノウハウとセットで企業へ送り出す。ここに強みを発揮できるのではないかと考えています」と話し、テレワークのさらなる可能性に意欲を示します。

※就労継続支援A型：企業等に就労することが困難な障がいのある人に対し、一般就労への移行をめざして雇用し、そのための訓練などを行うサービス

導入事例 6

株式会社24-7(トゥエンティフォーセブン)

WEBマーケティング業

所在地 ● 札幌オフィス/札幌市中央区北2条西9丁目1 Wall annex 201
電話番号 ● 050-6864-6764
代表者 ● 代表取締役 田村 慶
従業員数 ● 35人(札幌オフィス8人)
資本金 ● 2,850万円
事業内容 ● デジタルマーケティング支援・運用代行、
マーケティングオートメーション導入運用代行、
WEBインテグレーション、専門職派遣
U R L ● <https://www.24-7.co.jp/>



テレワーカー 業務サポート
佐々木 恵美さん

急な案件にも、在宅勤務で素早く対応

株式会社24-7でディレクターとして働く佐々木恵美さんは、週一回の頻度で在宅勤務を取り入れています。担当する業務はWEBサイトの不具合検査や更新対応、ソーシャルメディア用の原稿確認、投稿代行など多岐に及びますが、場所を選ばず働ける職場環境が自宅に整っているため、在宅でもオフィスと変わらない環境で働いています。

佐々木さんは「在宅勤務を取り入れたことで、スムーズにストレスなく仕事ができるようになりました」と話し、効果を実感して

います。また、自宅で集中して業務に取り組めることで、業務処理のスピードも上がったと言います。

社員同士の連絡は日頃からチャットを使い気軽に行うことができると思いますが、「場所が離れているからこそ、オンラインでのやりとりを丁寧にするよう心がけた結果、コミュニケーションが良好になってきた」と感じています。また、通勤にかかっていた時間を短縮できることや、通勤で感じていたストレスを軽減できることも、在宅勤務の大きな魅力だと感じています。



取締役
佐藤 寛次郎さん

業務ツールを活用し、時間・場所にとらわれず働く

株式会社24-7はWEBマーケティング、WEBサイトの制作・運営などの事業を展開し、経済産業省が表彰する「平成24年度ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれるなど多角的な経営が注目されています。

在宅勤務制度の導入は、女性社員が子育てを理由に在宅勤務を希望したことがきっかけでしたが、導入のための経費は「ゼロ」だったと取締役の佐藤寛次郎さんは話します。その理由は、場所を選ばず働ける環境が当社にはすでに整っていたこと。メールやカレンダー、ファイルの共有ができる「Google Apps(グーグル アップス)」のほか、プロジェクト管理、勤怠管理、チャットを使った社内でのコミュニケーション、テレビ会議などを、様々な業務ツールを使うことで効率化してきました。また、クラウドサ

ービスへのアクセスについてはセキュリティを二重にする対策をとっていたこともあり、特別な準備は必要ありませんでした。

佐藤さんは「震災の際もそうでしたが、企業のWEBサイトに緊急でメッセージを表示したいといった緊急のご依頼に対しても、WEBサイトの運用をご支援する側として、杓子定規に出来ないこととはできません。お客様の要望に応えるためにも、社員に在宅でプライベートと仕事を並行しながら柔軟に働いてもらうことが、会社にとっても大きなメリットになります」と話します。また、優秀な社員の就業継続や、制約のある社員を採用しやすくなることも魅力だと言い、今後はさらに在宅勤務パート社員の採用を進めていく方針だと話します。

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例

東日本電信電話株式会社(NTT東日本)

電気通信業

所在地 ● 北海道支店／札幌市中央区大通西14丁目7番地
代表者 ● 代表取締役社長 山村 雅之
従業員数 ● 4,800人(北海道支店:900人)
資本金 ● 3,350億円
事業内容 ● 東日本地域における地域電気通信業務及びこれに付帯する業務
URL ● <http://www.ntt-east.co.jp/>



テレワーカー 北海道法人第一営業部門
菊地 陽子さん

在宅を取り入れ、仕事が効率化

NTT東日本北海道法人第一営業部門の菊地陽子さんは、2、3か月に1度ほど、育児などの理由で在宅勤務をしています。同社では月8回を上限に在宅勤務を導入しており、事前登録をしているすべての社員が、前日までの申告で在宅勤務を利用することができます。

菊地さんは子どもの授業参観などの際に、時間単位の年次有給休暇と組み合わせる利用が多いといいます。そうすることで、年休を有効に使えるだけでなく、通勤時間などの時間的なロスが減らすことにつながり、結果的に3人の子どもの距離も近くなったと実感しています。菊地さんは在宅勤

務のメリットについて、「資料作りやメールの整理など、じっくりとデスクワークをすることが多く、自宅の落ち着いた環境で仕事はかかります。仕事を終えてパソコンをオフにするとすぐにプライベートの時間なので、終業後の時間を有効に使えることも魅力です」と言います。

現在は育児を理由に利用することが多いですが、今後もライフステージに合わせた様々な形で「ずっと使っていききたい制度です」と話し、将来にわたったワークライフバランスに目を付けています。



総務人事部人事第一部門ダイバーシティ推進室
三野 弘滋さん

柔軟な働き方の実現に向け、環境を整備

NTT東日本では、社員が柔軟に働ける職場環境づくりとして2009年度より在宅勤務制度を導入してきました。また、サテライトオフィスや外出先、移動中も仕事ができるよう、テレワークの環境整備も並行して進めてきました。同社は「ダイバーシティ・マネジメント」を重要な経営戦略として位置付けており、「多様な人材が能力を発揮できる環境づくりや、社員の生産性向上への取り組みを推進するため、柔軟な働き方の推進が必要不可欠との認識があったため、テレワークの導入に至った」とダイバーシティ推進室の三野弘滋さんは話します。

テレワークのメリットは、企業にとっては「限られた時間の中で効率的かつ生産性高く社員が働くことで成果を最大化させる

こと」であり、社員にとっては「継続的な就業やワーク・ライフ・マネジメントの実現」だと言います。テレワークを利用する社員へのアンケートでは、「移動中や自宅で時間を効率的に使える」「メリハリのある働き方ができる」「家族との時間などプライベートと仕事を両立して働ける」といった肯定的な意見が占めています。

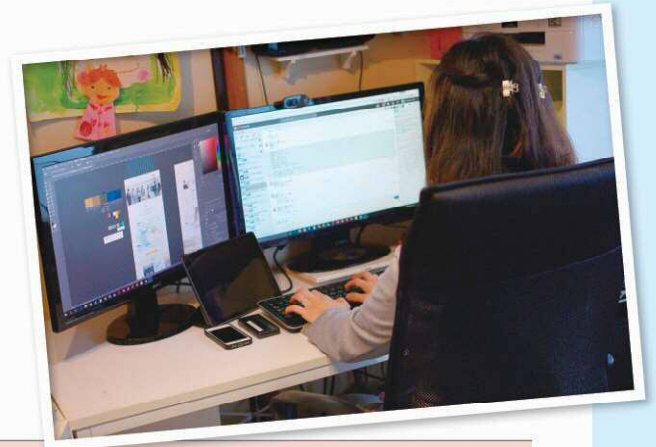
毎年、約300人前後の社員が在宅勤務制度を利用しており、育児や介護など時間的な制約がある社員のほか、時間の有効利用のために利用する社員もいます。三野さんは「利用はまだ一部に限定されています。制度のあり方、利用促進なども議論しながら、柔軟な働き方を実現していきたいです」と話します。

導入事例 8

株式会社フェリクシード

中小企業支援業

所在地 ● 札幌市中央区南3条西1丁目1-1 南3西1ビル7F
電話番号 ● 011-209-0055
代表者 ● 代表取締役 深澤 貴絵
従業員数 ● 7人
資本金 ● 500万円
事業内容 ● 事業拡大支援事業、人材育成支援事業、
求人サイトの運営、軽貨物運送事業
URL ● <http://felixeed.jp/>



テレワーカー ウェブ制作チーム
塙 友紀さん

子どもの体調変化や成長に寄り添える在宅勤務

株式会社フェリクシードでウェブ制作を担当する塙友紀さんは、在宅で週5日、1日あたり5時間程度、繁忙具合に合わせて柔軟に働いています。

塙さんは入社当初から在宅勤務をしています。入社前も合わせ10年以上にわたり在宅勤務を続けています。在宅勤務の魅力については「子どもが生まれてから特に、メリットを感じるようになりました」と話します。「子どもが病気がちで入院を何度も繰り返し、普通に働くのは難しかった」と言います。その点、在宅勤務では「子どもの体調に合わせて、子どもが寝たりテレビを見たりしている隣で仕事をすることができます」と話します。

自宅では、貸与されたパソコンとモニター、携帯電話を使って専用スペースで仕事をします。最近、小学生になったお子さんが帰宅する時に家で迎えてあげられることが在宅勤務の魅力だと言い、「子どもにとっては母親が家で仕事をしていることは当たり前ようです。むしろ外に働きに出ることは想像できないだろうと思います」と、家庭生活に在宅勤務がしっかりと定着している様子がうかがえます。子育てが落ち着くまで当面の間は、在宅勤務を続ける方針だと言います。



代表取締役
深澤 貴絵さん

ライフスタイルに左右されず、働ける職場を

WEB制作・運営支援、人材育成支援、求人サイトの運営、軽貨物運送など、多岐にわたる事業を展開する株式会社フェリクシード。代表取締役の深澤貴絵さんは、テレワーク導入について「10年先を見据えて行っていること」と話します。

「女性、男性に限らず、社員が育児や介護をすることになってから、急にテレワークを始めるのは難しいと思います。ライフスタイルや場所にかかわらず働ける職場環境を整え、そのために社員を教育することが大切だと考えます」と深澤さんは話し、設立以来、テレワークの環境整備に積極的に取り組んできました。

その取り組みとして際立っているのが、「chatwork(チャットワーク)」というコミュニケーションツールを使った業務管理の手法

です。電話やメールでの連絡は最終手段とし、社員同士、そして顧客との連絡もチャットで行い、テレビ会議や勤怠管理、業務報告、経費報告といった業務管理もすべてチャットで行います。そうすることで、オフィスや自宅、出張先、サテライトオフィスなどに分散した社員をつなぐことができ、深澤さんご自身も自宅や海外で仕事をこなし、札幌本社への出勤は年に20日程度だと言います。「社員に働き続けてほしい」という思いで始めた環境整備は、退職する社員をほぼゼロに止めただけでなく、チャットを使った業務管理による業務効率の向上、全国展開や事業拡大のチャンスという効果を生み出したと言います。今後の新たなビジネス展開にも意欲的です。

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 9

北海道ベンチャーキャピタル株式会社

投資運用業・経営コンサルタント業

所在地 ● 札幌市北区北7条西2丁目20番地 東京建物札幌ビル2階
電話番号 ● 011-738-7380
代表者 ● 代表取締役社長 三浦 淳一
従業員数 ● 4人
資本金 ● 8,800万円
事業内容 ● 未公開企業向け投資事業組合の企画・運営事業、
経営コンサルティング事業
U R L ● <http://www.hokkaido-vc.com>



テレワーカー コンサルティング部
熊野 彩さん

自由な働き方で、弁理士業と兼業

北海道ベンチャーキャピタル株式会社でシニアコンサルタントとして働く熊野彩さんは、弁理士として「熊野アヤ特許事務所」代表という別の顔を持っています。熊野さんは入社と同じ時期に弁理士事務所を開業し、職場からの多大な理解と応援を受けて会社員と弁理士業の兼業の道を歩んできました。「今は会社のためにも、弁理士としてしっかり独立することが最も大切」と話す熊野さんは、会社と弁理士事務所の仕事に同程度の時間を割いて働いています。

熊野さんは小学生のお子さんを持つ母親でもあり、仕事の内容やお子さんの体調に合わせて、その日の在宅・出勤を選び、

出勤の時間を調整しています。また、取引先に自宅から直接向かったり帰宅したりすることも多いと言います。

社内で弁理士事務所の仕事をするのも自由だと言い、自宅を事務所としている熊野さんは、顧客との打ち合わせに会社の会議室を使います。「自宅で打ち合わせするのは難しく、会社は利便性の良い場所でもあり、助かります」と話します。自由度の高い働き方についても「すごく働きやすい環境だと思います」と話し、満足して働いていることがうかがえます。



代表取締役社長
三浦 淳一さん

社員・パートナーの専門性をいかせる「プロ集団」に

企業の新規事業や株式上場を投資とコンサルティングで支援する北海道ベンチャーキャピタル株式会社の代表取締役社長、三浦淳一さんは「才能のある人を囲い込むのではなく、働きやすい形で働いてほしい」と考えています。設立当初からフリーランスのコンサルタントをパートナーに事業展開してきた経緯があり、「柔軟な働き方をこちらが許容できれば、専門性を発揮してもらえる優秀な人材は多く潜在している」と考え、「社員・パートナーが自分の専門分野でしっかりと独立しているほうが会社の信頼性も上がり、双方にとってメリットになるのです」と話します。

「目指すのは専門を持った人たちがゆるくつながっている『プロ集団』」と三浦さんが話す通り、弁護士、弁理士、会計士などの

有資格者や、海外ビジネスなどの強みを持った社員・パートナーとともに事業を行い、社員は必ずしもオフィスに在る必要はなく専門規則もありません。

三浦さんご自身も外出先で仕事をする事が多いと言います。在宅やモバイルで仕事をするための携帯電話、PC、ポケットWi-Fiを社員にも用意しました。ファイルはクラウドサーバーで共有しています。

兼業する熊野さんの働き方については「時間で区切って働いてもらうことは難しいです。会社の取引先からの連絡を待つ間に、弁理士の仕事をする事はむしろ効率的だと思います」と歓迎します。今後は、経理業務を在宅など外部の人材に委託することを検討していると言います。

導入事例 10

本間社会保険労務士事務所

社会保険労務士業

所在地 ● 札幌市中央区北4条西17丁目1-10 グリーンヒルズ2階
電話番号 ● 011-616-8177
代表者 ● 本間 あづみ
従業員数 ● 6人
事業内容 ● 労務管理コンサルティング、労務監査(労務診断)、就業規則の作成・改訂、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、育児・介護・闘病との両立支援コンサルティング、労働・社会保険手続、給与計算アウトソーシング
U R L ● <http://www.honma-office.jp>



テレワーカー 業務サブリーダー
伊藤 やよいさん



育休明けの「リハビリ」として在宅勤務を利用

本間社会保険労務士事務所です事務を担当する伊藤やよいさんは、在宅勤務制度を利用することで、一度は覚悟した退職をすることなく働き続けることができました。

伊藤さんは3人目のお子さんを出産後、お子さんが重い病気を抱えていたために家庭との両立に不安を持ち、退職を考えたそうです。職場に相談したところ「まずは休んでみては」という提案を受け、育児休業を取得。2年が経つころにはお子さんの体調も良くなり、在宅勤務の形で復帰しました。伊藤さんは「仕事から完全に離れていたのが不安もありましたが、在宅勤務で『リハビリ』のように徐々に仕事に慣れることができました」と振

り返ります。

在宅勤務中は、個人情報扱わない業務を主として、自宅の家族の立ち入らない専用スペースで、PCのリモートデスクトップ(※1)機能を活用し、自宅のPCで職場のPCと同じような環境を実現し、働いていました。また、紙の資料は鍵つきのキャビネットに保管する、資料は使用後すぐにシュレッダーで破棄するといったルールをセキュリティ対策として徹底しました。現在はお子さんを保育園に預けての出勤に切り替え、短時間勤務をしています。



代表
本間 あづみさん

家庭との両立を目的に、社員の流出を防ぐ

労務管理の専門家として、企業経営のサポートを担う本間社会保険労務士事務所は、総務省の「テレワーク先駆者百選」に認定されるなど、その取り組みが目まぐるしく注目されています。

代表の本間あづみさんは、社員にとっての家庭と仕事の両立を目的にテレワーク導入に積極的に取り組んできました。ご自身が母親でもある本間さんは「子育ての経験があるからこそわかることがあると思います。優秀な社員に働き続けてもらうために制度を整えてきました」と話します。

特に育児休業取得後の職場復帰について「スムーズにできればいいですが、子どもの預け先の問題などもあり、在宅勤務をいわば『リハビリ』として利用してもらっています」と話します。社員は全

員が女性で、出産、育児、夫の単身赴任など、女性特有のライフステージに合わせた柔軟な働き方を受け入れてきました。約2年前に始めた在宅制度は、これまでに3人の社員が利用しています。テレワーク導入にあたってはセキュリティ対策を重視し、UTM(※2)の導入や、鍵つきキャビネットの貸与などを行いました。ご自身も、お子さんの体調不良の時やプライベートの空き時間に、自宅や外出先で個人情報を含まない資料作りなどの仕事をこなします。テレワーク勤務制度について本間さんは「今後は介護の問題が出てくることもあると思います。そうした意味でも在宅の利便性をあげるよう、検討を重ねていく方針です」と、さらなる制度の充実化に意気込みます。

※1. リモートデスクトップ：手元のコンピューターからネットワークで接続された他のコンピューターのデスクトップ環境等を操作する技術

※2. UTM：コンピュータウイルスやハッキングなどの脅威からネットワークを守るため、複数の異なるセキュリティ機能を一つのハードウェアに統合し管理する手法

一歩先行く企業戦略

札幌市内の企業におけるテレワークの導入事例

平成29年(2017年)3月発行

発行： **SAPPORO**

札幌市経済観光局産業振興部経済企画課
札幌市中央区北1条西2丁目 TEL.011-211-2352

受託者：  株式会社 **Mammy Pro**

札幌市中央区南1条西5丁目 愛生館ビル4F
TEL.011-206-9150 FAX.011-206-9750 www.mamanavi.tv



さっぽろ市
01-H01-16-2242
28-1-189